

平成24年度事務事業評価シート (23年度実施事業分)

事業番号	04 03 24	中期総合計画主要施策番号	3-02,3-03	担当課	部・課	健康福祉部医療推進課	
事業名	周産期医療対策事業				内 線	2619	
					E-mail	iryo@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H22 ~	根拠法令等	周産期医療システム体制、医療提供体制推進事業費補助金交付要綱				
実施方法	・周産期医療協議会を設置し実施 ・周産医療センターへ補助金を交付し実施					国庫・ 県単 国庫補助事業・ 県単独自事業	
事業の概要等	目的 (必要性)	・周産期医療機関が連携し、高度な周産期医療を迅速かつ適切に県民へ提供できる体制を整える。					
	対 象	・周産期医療センター					
	目指すべき姿	・妊産婦が身近な医療機関でお産のできる体制を確保するとともに、高度な医療が必要な事例については、必要な医療機関への迅速な搬送体制を確保する。					
	事業内容	・周産期医療協議会の設置 ・周産期医療センターの運営費について補助する。 補助対象経費 運営費(給与費、材料費等) 補助率:1/2 補助対象施設 国立系を除く周産期医療センター					
事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 補助金:91,263千円(県立こども病院、飯田市立病院、諏訪赤十字病院、長野赤十字病院、佐久総合病院、北信総合病院) 需用費・役務費:45千円
	最終予算額 (A)		千円	126,258	183,803	156,972	
	決 算 額 (B)		千円	85,994	91,308		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	339	339	339	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.10	0.10	0.10	
		概算人件費 (C)	千円	832	826	826	
	概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	86,826	92,134	157,798	
事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 総合周産期医療センター1 + 地域周産期医療センター5 (外2施設は黒字となったため対象外となった) (効果指標/算出式) 決算額(当初予算額)/補助対象施設数
	周産期医療センター補助対象数(活)		施設	6	6	8	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 補助対象施設あたりの補助額		千円/施設	14,248	15,211	19,558	
事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価			評価区分
	・補助対象の周産期医療センターの適切な運営を確保する。			・周産期母子医療センターの運営費を補助し、母体・胎児及び新生児に対する医療サービスを確保することができた。 ・平成23年度の総合周産期母子医療センター(1施設)及び、地域周産期母子医療センター(5施設)の搬送受入件数は、母体290件、新生児257件、合計547件であり、「期待どおり」であった。			b 期待どおり
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・出産前後の母体・胎児及び新生児の管理を一貫して行い、胎児異常、ハイリスク分娩等に対する高度な医療を行うことができる(周産)期母子医療センターのニーズは引き続き高い。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
総合分析 (今後の課題、取組方針等)		・周産期母子医療体制の確保は喫緊の課題であることから、引き続き体制整備を図る必要がある。					
特記事項							